



『新型』コロナウイルス感染症の影響で、練習の成果を発表する機会がなくなりました。卒業公演ができないなど、グループ活動の節目として発表会をしたいという声を、休館明けのセンターで聞くようになりました。中央青少年活動センターとして何か応援できることはないかと考え、「自主活動応援事業 CHEER」としてノンジャンルでの発表会を実施することにしました。また、同じタイミングで自分の活動の発表をして、いろんな人が交流できる機会をつくりたいという青少年との出会いもあり、協同で10月18日(日)に実施することができました。当日は4グループが参加し、感染症の対策をしながらの開催となりましたが、盛況のうちに終わりました。

『プチなんでも発表会』

南センター
寄付報告

2018年に50周年をむかえた南青少年活動センター。50周年記念事業のひとつとして立ち上げた寄付事業『ロビー喫茶一口マスター』で、集まった寄付金を活用した喫茶コーナーの改修が、この秋に若者たちの手をかりながら、無事に終えることができました。新しい喫茶コーナーを活用したプログラムは、コロナ感染予防の対策を講じながら、この10月より試験的にとりくみはじめています。

<p>寄付協力</p> <p>地域の企業や個人のみなさまにご協力いただきました。</p>	 <p>日本新薬 日本新薬株式会社</p>	 <p>DDK 大和電設工業株式会社</p>
 <p>WATADA PRINTING CO., LTD. 和多田印刷株式会社</p>	 <p>KAWAKITA 河北印刷株式会社</p>	 <p>SANKO 株式会社山公産業</p>

九条塔南自治連合会 御一同様

天野 広一様

谷口 多美子様

横江 有子様

セルクル女声ハーモニー 御一同様

松井 憲昭様

植村 友博様

南青少年活動センター
ホームカミングデーご来場の皆様

岸本 泰昌様

松村 幸裕子様

制作協力

株式会社 三正
建設塗装全般KC 川田
有限会社 山田木工所



東山青少年活動センター
開館50周年記念事業

昭和46年(1971年)2月1日、東山青少年活動センターの前身である「東山青年の家(勤労青少年ホーム)」が開館しました。当時の建物は東大路七条を少し上った区役所の裏手(西側)にありましたが、2001年に現在の総合庁舎北館の2階に移転し、名称も青少年活動センターに変わり、リニューアルオープンしました。旧庁舎で30年、新庁舎になって20年。2021年2月に50周年を迎えるにあたり、記念事業を開催します。

思い出の写真を集めています！

旧青年の家や新庁舎での思い出の写真を集め、モザイクアートにしてロビーに展示中です。利用者の皆さんには、思い出の写真(新庁舎でも大歓迎)にコメントを寄せて応募いただいております。

その他、情報誌『ヒガシガシ』50周年記念号の発行や、ものづくりワークショップ、2001年のリニューアルオープン時に記念事業として実施された「東山ダンスフェスティバル」に続くダンス関連イベントを予定しています。いずれも、詳細はホームページをご覧ください。
<http://ys-kyoto.org/higashiyama/>

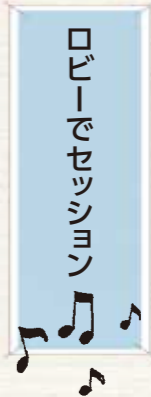
10月25日(日)『まちろゲイニング』を実施

『まちろゲイニング』は、チェックポイントごとの得点が書かれた地図を手に、3〜4人のグループで制限時間内にできるだけ高得点になるようなルートを考えて回りながら、チェックポイントで写真を撮る



影、総得点を競うスポーツイベントです。下京青少年活動センターでは昨年度より開催しています。当日はとてもいい天気イベント日和になりました。参加者は28名で、小学生から50代までと、とても幅広い年齢層の方からの参加がありました。参加者からは「京都のまちの奥深さに驚いた」「たくさん歩いて走って、いい運動になった」などの声があり、この時期だからこそ、心も身体もリフレッシュできる充実した1日になったのではないのでしょうか。次回は2月21日(日)です。たくさんの方のご参加お待ちしております！

ロビーでセッション



北青少年活動センターのロビーには、カホンとエレキギター、アコースティックギター、ベース、キーボード、ウクレレと楽器が多く置かれています。時折、誰か1人が何かを弾き始めると他の楽器が弾ける人や音楽に興味がある人がぞろぞろ集まり、セッションが始まる場合があります。7月のある日には、近隣高校の軽音部と楽器が弾けるようになりたい大学生との間で交流が生まれ、ギターが弾けるユースワーカーも混ぜてもらって椎名林檎「丸の内サディスティック」を一緒に演奏しました。その時、カホンで参加した大学生は、セッション後、「あんな風に弾けるようになりたい」と、足繁くセンターに通ってギターやベースの練習をする日々を過ごしていました。あの日に偶然居合わせたことにより、趣味が広がったといえる出来事。このようなことも、青少年活動センターのロビーでは起こるんですよ。

ユースかわら版

広報紙に関する「意見」「感想」は「ユース」へ

